



Bridgestone 3.0 Journey Report (統合報告) を通じたESG情報開示の推進および課題について

CSR研究会 ESG/CSRウェビナー

<内容>

- » 非財務・財務情報の報告媒体の変遷
- » サステナビリティ関連情報開示における報告媒体の位置づけ
- » サステナビリティ関連情報開示と戦略企画
- » Bridgestone 3.0 Journey Report (統合報告2023) の概要・主要コンテンツご紹介
- » ESG情報開示におけるポイントおよび課題

July 4th, 2023

Confidential S2

当社の非財務・財務情報の報告媒体の変遷

- ・非財務情報は「環境報告書」、「社会・環境報告書」、「CSRレポート」と名称・コンセプトを変えながら、2016年以降は「サステナビリティレポート」として発行
- ・財務情報は2021年まで Annual Report 「財務編」・「事業編」を発行

2022年度より **財務・非財務情報を統合した一貫性のある価値創造ストーリーを伝える媒体** として **統合報告を発行**



サステナビリティ関連情報開示における報告媒体の位置づけ

各媒体に求められる特性に応じた **伝えるべき対象・内容・メッセージ** を踏まえて情報開示を推進

自主報告(自由演技)である統合報告においては、当社の価値創造ストーリーをわかりやすく伝えることを重視して編集

情報開示要求に対しては、網羅的にESG情報を開示するWebサイトでの内容拡充を関連機能と連携して機動的に推進

統合報告

自主報告(自由演技)

価値創造ストーリーをわかりやすく伝え、
共感～価値共創につなげる

- » 対象：主に機関投資家、ビジネスパートナー、従業員 (現在および将来含む)
- » 内容：財務・未財務情報を包括的かつ簡潔なストーリーとして報告
- » ポイント：当社の持続的な成長の確からしさ、当社だから創出できる/創出すべき価値
- » 開示頻度：年度開示

Webサイト (サステナビリティ)

自主開示・開示要求対応

ESG情報を詳細に開示し、透明性の向上
につなげる

- » 対象：社外評価機関、サステナビリティ専門機関・有識者、投資家など
- » 内容：サステナビリティに関する考え方、取り組みの詳細を網羅的に開示
- » ポイント：当社の包括的かつ網羅的な取り組みの広がりおよび深さ
- » 開示頻度：年度更新 + 適宜更新

有価証券 報告書

制度報告(規定演技)

投資家保護を念頭に、投資判断に有益
な情報を開示

- » 対象：株主、投資家、融資者、その他金融機関
- » 内容：制度に沿った情報開示
- » ポイント：事業のパフォーマンスの確からしさ
- » 開示頻度：年度開示

サステナビリティ関連情報開示と戦略企画：PDCAサイクル

統合報告・Web情報の更新をステークホルダーとの対話の起点として位置付け～ダイアログを強化

サステナビリティ活動結果や社外評価結果より総括し、抽出された課題を戦略や計画に反映

Check

ステークホルダーとのダイアログ(抜粋)

機関投資家

- » ESGダイアログでの関心・期待事項を抽出
- » 数名からレポートへのフィードバックを直接入手

ビジネスパートナー・顧客

- » レポートをコミュニケーションツールとして活用

有識者・NGO・社外評価機関

- » コメント、開示情報への評価結果を分析

従業員

- » 当社・活動への理解、関心分野

Act

活動・評価結果の総括

定期レビュー

活動
レビュー

当社のサステナビリティ活動結果
※対外的にどのように評価されたか

Plan

重点項目抽出・予算反映

取り組み・
戦略拡充
(優先課題抽出)

期待に応える
ESG情報
開示拡充

サステナビリティ関連情報開示と戦略企画：PDCAを踏まえた 統合報告 2023 の編集方針

PDCAを回しながら内容を進化 ⇒ 進捗の見える化、より具体的な情報開示を拡充、6/30発行

「**Bridgestone 3.0の進捗報告 + 共感から価値共創への招待状**」の位置づけは継続

統合報告2022 (Total 108ページ)

グループ紹介	ブリヂストンの概要、挑戦の歩み
	Global CEO コミットメント
	Bridgestone E8 Commitment
	グローバルマネジメントチームラウンドテーブル
サステナビリティを中核とした中長期事業戦略の実行	価値創造の全体像
	中計進捗
	財務戦略
	事業別概況
	サステナビリティビジネス構想
	DX&イノベーション、BIP、デザイン
	知財戦略
	人財戦略
価値共創への招待 ～信頼の醸成	モータースポーツ、自然・地域共生
価値創造の基盤・共創のガバナンス	労働安全・衛生、コンプライアンス、人権・労働慣行、BCP・リスクマネジメント、調達、品質・お客様価値
	コーポレート・ガバナンス
データ	財務・非財務データ、会社・投資家情報

統合報告2023 (Total 112ページ)

Who we are	企業理念・Bridgestone E8 Commitment	
	グループ概要、挑戦の歩み・ ブリヂストンDNA	
Where we are going	Global CEO コミットメント	
	Bridgestone E8 Commitment 浸透活動 価値創造の全体像	
How we get there	一貫性をもってわかりやすく伝える 長期戦略アスピレーション 21中計進捗-22年業績総括&23年見込 ROIC、グローバルポートフォリオ経営	
	サステナビリティビジネス構想の進化 人財戦略・人的創造性の向上 事業別概況・戦略 (プレミアムタイヤ、ソリューション、新たなコアコンピタンスとの連動強化)	
	グローバル経営リスク対応 戦略リソース・戦略的成長投資	
	関心の高まっている情報の開示強化 財務戦略	
	知財戦略 自然・地域共生、コンプライアンス、人権、調達、DE&I、労働安全・衛生	
	組織のレジリエンスを高める取締役会の実効性 コーポレート・ガバナンス (取締役会議長・各委員長メッセージを含む)	
	データ	財務・非財務データ、会社・投資家情報

ネイチャーポジティブ：独自のモデルをさらに進化

Bridgestone 3.0 Journey Report (統合報告2023) の概要・主要コンテンツご紹介

Global CEO コミットメント

- Bridgestone 3.0 Journey Report (統合報告2023) の総括として、企業を取り巻く環境と経営者としての現状認識、業績、サステナビリティを含む Bridgestone 3.0 の進捗、価値創造の基盤となる人的創造性、24中計に向けた思い、などの主要トピックをカバー
- 変化が常態化する時代においても、人とモノの移動を支え続けること、持続可能な社会の実現にコミットし、共感～共創を呼びかけるもの

経営の中核はサステナビリティ

人的創造性向上

Who are we | Where we are going | How we get there | Data

Where we are going

Global CEO コミットメント

「変化が常態化」する時代において、人とモノの移動を支え続けるパッションを絶えず持ち、持続可能な社会を実現していくことにコミットします。

事業環境の変化に対する冷静な姿勢

変化に対応できる「強い」リテラシー

人とモノの移動を支え続ける

石橋 秀一
取締役 代表執行役
Global CEO

Who are we | Where we are going | How we get there | Data

ENLITEN

新たなプレミアムの創造

Who are we | Where we are going | How we get there | Data

モータースポーツ活動 60周年

Bridgestone E8 Commitment to Our Future

P12-19: Global CEOコミットメント

Bridgestone 3.0 Journey Report (統合報告2023) の概要・主要コンテンツご紹介

Bridgestone E8 Commitment、長期アスピレーションを軸に、価値創造ストーリー、コンテンツを構成 (1/2)

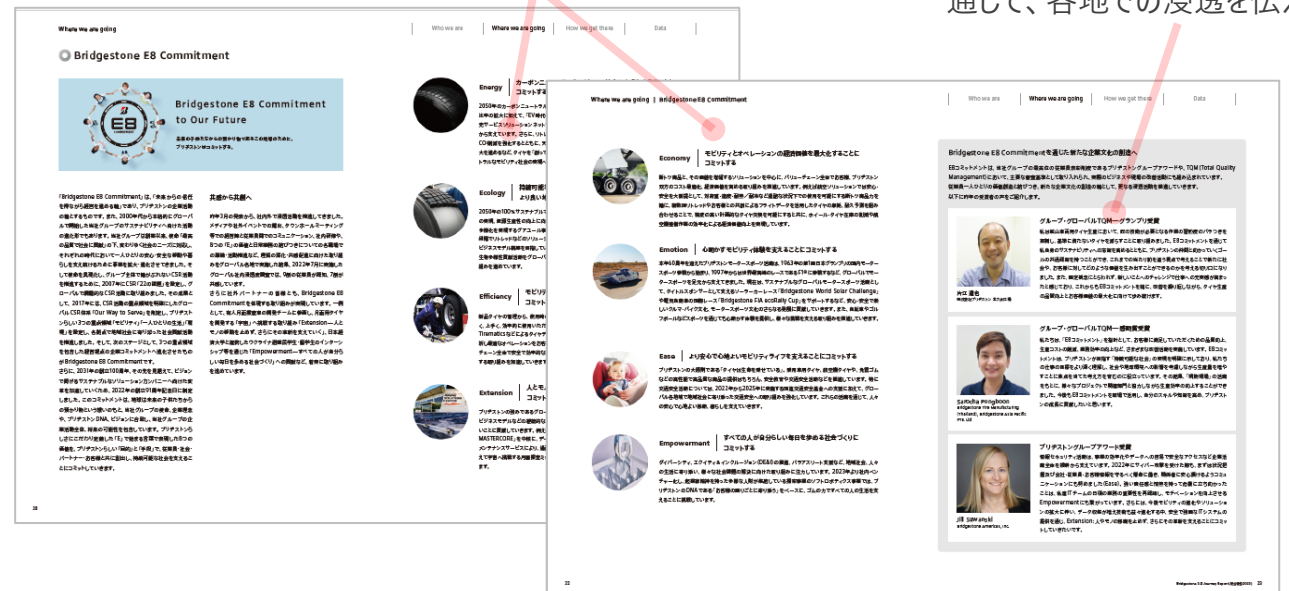
- ・Who we areのパートで、企業理念体系、Visionと共にBridgestone E8 Commitmentのキービジュアル、並びにコミットメント全文を掲載
- ・投資家からも関心の高い、各地域におけるE8コミットメントの浸透状況について、現地従業員の顔が見えるメッセージを通じて伝える

Who we areにキービジュアルを掲載し、当社のコミットメントを訴求



P5: Who we are (E8 キービジュアル)

事例を活用して 8つの価値を
わかりやすく伝える



グループアワードやTQM授賞者の声を
通じて、各地での浸透を伝える



P22-23: Bridgestone E8 Commitment

※その他、全編を通じて、E8コミットメントの価値創出へのつながりを訴求

ESG情報開示におけるポイントおよび課題

PDCAを回しながら課題を深掘りし、情報開示の拡充、取り組みレベルを継続的に向上

高関心層向けのダイアログを継続し、対話の進化・深化を図るとともに、情報開示への期待の高まりにも対応していく

ESG情報開示におけるポイント

情報開示 戦略・ プロセス

- » 伝えるべき対象・内容・メッセージを踏まえて情報開示媒体を使い分け
- » 統合報告を“対話に向けた経営ツール”として位置づけ
- » ダイアログの起点とし、フィードバックを受けながらPDCAサイクルをまわす

価値創造 ストーリー

- » 当社らしい、独自の価値創造プロセス・ビジネスモデルを“一貫したストーリー”としてわかりやすく伝える
- » 戦略の実行の展開、具体的な進捗の情報を拡充し、持続的な価値創造の“確からしさ”を伝える

今後の課題

開示要求 強化への 対応

- » 有報での開示拡充、CSRDに沿った情報開示など、**規定演技拡充への対応強化**
- » 規定演技の内容・領域拡大に伴う**自由演技の位置づけ・媒体の見直し**

財務-未財務 情報のつ ながり

- » 将来年度における**財務影響の定量化**および**開示プロセスの整備**

情報の 適時性と 信頼性

- » **財務・非財務情報の同時公表**に向けた実務的な課題の解決、特に第三者保証期間
- » **非財務情報の内部統制**の考え方、**保証の位置づけの整理**

